



池田町 議会だより

No.108

平成27年10月28日発行



9月議会定例会 平成26年度決算 審査意見を提言し認定

〈主な内容〉

9月定例会

- 26年度 決算の概要 …………… 2
- 26年度 町の予算の使われ方 …… 3
- 議決された主な事項 …………… 4
- 本会議での質疑 …………… 4
- 予算決算特別委員会質疑 ……… 5
- 常任委員会での質疑 …………… 6
- 26年度決算への意見書 ……… 7
- 9月定例会審査結果 …………… 8
- ここが聞きたい(一般質問) …… 9～13
- 議会を傍聴して …………… 14
- 町民の皆さんと議会との意見交換会 … 14

来年からは1年生 ～まわれ かざぐるま!～

[9月19日 会染小学校運動会]

平成26年度決算

一般会計・特別会計併せて 2億3,000万円余の黒字

“おおむね良好な財政運営がなされた”と認定

9月定例会の概要

9月定例会は9月8日から18日まで開かれた。平成26年度一般会計・特別会計・水道事業会計の決算を審査し、いずれも認定した。また、議案8件を審査し、いずれも可決した。決算審査の後、町民サービスの成果や今後の課題などを意見書としてまとめ行政側に提言した。

陳情2件、請願4件を審査し、4件の意見書を関係機関に送付した。

一般質問には10人の議員が立ち、町政全般について町の考えを質した。

《平成26年度の主な事業》

- 防災行政無線デジタル化整備・消防団施設拠点整備事業の実施
- 高校生及び75歳以上を対象に町営バス定期券の販売開始
- 会染保育園の耐震補強工事を実施
- 地域介護予防の拠点となる高齢者支えあい施設整備
- 池田小学校の大規模改修第Ⅰ期工事を実施
- 町民参加での地域交流センター基本構想を策定

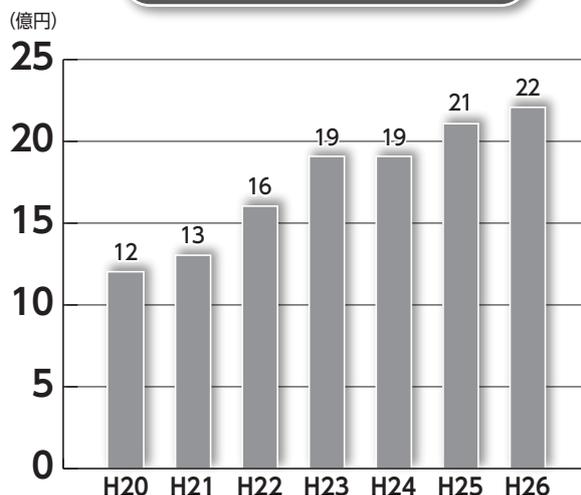
平成26年度 町の財政運営はどうだったか。

- 町の基金(貯金)は約1億円増の22億円(町民1人当たり21.3万円)
- 実質公債費比率(借金返済額÷標準財政規模)は0.8ポイント改善され、5.5%
- 町の地方債現在高(借金)は約8,000万円減少し、108億3000万円

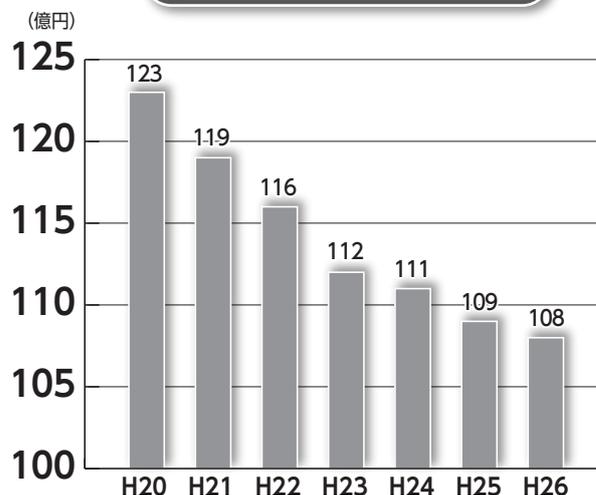
(町民1人当たり104.9万円)

標準財政規模:人口規模などから標準的な行政活動を行うために必要な一般財源の総額

町の貯金(基金)推移



町の借金(町債)推移



平成26年度一般会計決算

平成26年度 町のお金はどのように使われたか

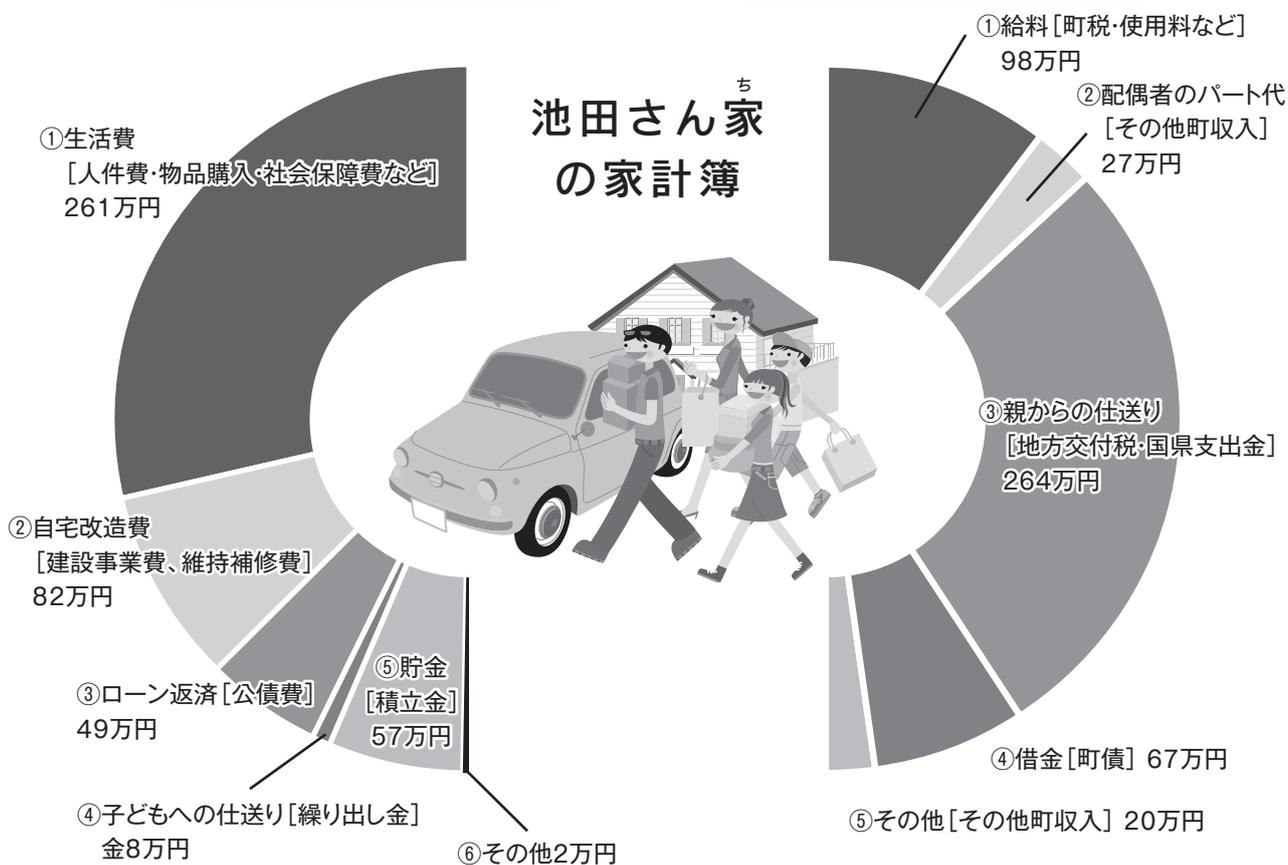
町の財政状況を池田さん家^ち(仮称)の家計に置き換えてみました

**歳出決算額45億9,467万円を
年支出459万円として**
(町民1人当たり44.5万円)

**歳入決算額47億5,959万円を
年収入476万円として**
(町民1人当たり46.1万円)

年間支出 459万円

年間収入 476万円



～ 池田町の財政状況・町のお金の使われ方 ～

- 町財政のうち町の自主財源(町民税・使用料など)は全財政の26%であり、国・県からくるお金(地方交付税・国県支出金など)は56%、借りたお金・その他(町債など)は18%でまかなわれている。国・県からくるお金が今後も今までどおりになるか不透明な面もあり、今後とも慎重な財政運営が求められる。
- 町のお金は必要な物品購入・諸施設の光熱水費・職員給与などの町運営経費に全財政の57%、必要な建設事業に18%、町の他会計の繰り出しに2%、借金返済に11%、将来に必要な施設建設などの貯金に12%と、おおむねバランスをを考えて使われている。

《9月定例会で議決された主な事項》

◎池田町一般会計補正予算

子どもに夢と希望を与える

松本山雅ホームタウンに 300万円を出資

- 消防法に基づく美術館の自家発電機更新 968万円
- マイナンバー制度システム改修 613万円
- (株)黒田精工の工場増設への助成金 600万円
- 松本山雅への出資金 300万円

◎個人情報保護条例の一部を 改正する条例

マイナンバー制度の施行にともない、個人情報保護を図るため条例の一部を改正した。

◎手数料条例の一部を改正する条例

マイナンバー制度の施行にともない、通知カード及びマイナンバーカードの再交付手数料として500円を定めた。

本会議の質疑をまとめました

電算委託による誤徴収への対応は

- 問** 電算委託で誤徴収が発生した。町と委託業者(株電算)との間で損害賠償などを明記した委託契約書を結んでいるか。
- 答** 委託業者との契約で賠償について明記したものは結んでない。業者と協議し検討する。

電算委託料適正の判断基準は

- 問** 委託業者一社との独占的な契約である。契約金額は高額だが、妥当と考えるか。
- 答** 県内のほとんどの市町村が同社との契約であり、他社との比較は困難である。近隣の市町村・県の業務契約を検討材料に契約している。今後、精査していく。

個人番号制の整備にかかる国の負担率は

- 問** 住民基本台帳と比べ

たマイナンバーカードのメリットは。

- 答** 住民基本台帳は身分証明書の役割である。マイナンバーカードは情報量が多く、多くの機能を持たせられる。

問 マイナンバー制の整備に係る国の負担率は。

- 答** 総務省関係の整備は原則10/10国負担である。しかし、地方税システムの整備は2/3国負担である。

厚労省関係の整備は原則2/3国負担である。しかし、国民年金・特別児童手当は10/10国負担である。このように個々の項目により異なる。

ハープセンターの足湯開始に万全の準備を

- 問** 足湯で事故が起きた時責任はどこのか。
- 答** 町が責任を負う。
- 問** 具合が悪くなった場合の連絡ボタンを付けるなど緊急時の対応は。
- 答** 連絡ボタンは付ける。

足湯開始に向けマニュアルを作るなどしっかり対応する。

問 冬季閉鎖中の侵入防止措置は。

答 講ずる。

臨時財政対策債の活用 についての町の考えは

- 問** 臨時財政対策債は満額利用でいくのか、考え方は。また、今後の臨時財政対策債の動向は。
- 答** 一般財源と同じものと考えて、今後でも満額利用していく。

庁舎の雨漏り対策は

- 問** 庁舎の雨漏りは予算建てをしてしっかり対応すべきでは。
- 答** 今後、十分に検討したい。

電気軽自動車の導入を

- 問** 軽自動車の更新には環境に優しくランニングコストの安い電気自動車にすべきではないか。
- 答** 精査したい。



ハープセンターの足湯始めました

予算決算特別委員会質疑（抜粋）

委員会では出された主な質問・意見は次のとおりです。

認定 26年度一般会計決算

◆会計課

問 一時借入金利子（8千219円）が今回新たに発生した理由は何か。

答 年度末、起債償還で資金繰りが厳しくなった。基金をとり崩す損失よりも、2億円を15日間借りる方が有利であったので、一時借入金利子が生じた。

◆総務課

問 町なかのクラス糞対策に町として応援できないか。

答 対応に苦慮している。美しい町づくり推進委員会でも検討するが、振興課・住民課で対応していきたい。

◆福祉課

問 地域介護福祉空間整備事業の今後の見通しは。

答 国の予算が大幅に

減っており、制度の存続も危ぶまれる。池田町は既に6カ所整備されており、今後の見通しは厳しい。

◆建設水道課

問 東京都のように防災上必要な道路に面した家屋の耐震化が進むよう助成措置を検討できないか。一般家屋で耐震化されていない家屋数は把握されているか。

答 町独自の家屋の耐震化を進める助成措置は困難である。一般家屋で耐震化されていない家屋数は把握していない。

◆振興課

問 ハーブ園の農地借り上げ料が通常の10倍以上高く、納得できない。改善できないか。

答 少しずつ下げているが、一挙には下げられない。産地交付金を利用しながら段階的に下げしていきたい。

◆森林整備事業が大北

問 森林組合の不正受給の問

題で進んでいない。枯れた松が倒れ、危険である。早く進めて欲しい。町の対応は。

答 国の補助金申請には事業体が森林整備計画をだしていただくことが必要である。現在、別の組織である「大北木材協同組合」に事業実施を依頼しているが、同社は計画を立てられないので、森林コンサルタントに依頼して森林計画を立てるよう指導している。また、別の1社も交渉中である。

問 町単独で大北森林組合に依頼した事業は問題ないか。

答 町単独依頼事業は現地確認調査を完了しており、間違いなく実施されている。

◆教育委員会

問 小学生の血液検査の傾向は。

答 太っていない子どもも血糖値が高い子がいる。家の人と相談し、食生活改善のアドバイスをしている。また、痩せすぎの子も指導している。

認定 26年度国民健康保険特別会計決算の質疑

問 在宅医療の推進を進めるとして、職員は不足していないか。

答 北アルプス広域連合と連携して進めている。医師会・薬剤師会とのネットワーク、保険者との協議が必要である。

議案 27年度一般会計補正予算

問 地域介護福祉空間整備事業で整備した一部基幹センターの基礎にクラックがみられた。基礎にクラックが見つかること自体がおかしいのでは。

答 同施設は25年度末に竣工した。設計に問題はなかったが、施工に問題があったように思われる。町も責任があるが、設計どおり実施されているかを設計者に管理委託した。作業日誌をみると、基礎打ち作業がマイナス5度〜6度で行われたが十分



松本山雅サッカー教室（松本山雅 FC 提供）

に養生されなかったようである。

問 竣工検査でクラックは発見されなかったのか。

答 その当時、クラックはなかった。27年4月になり地元から外壁にヒビ割れが見られ、基礎にクラックがあるとの報告があった。町の建物でもあるので安全を確認するため調査する。調査結果をみて、対応を検討していく。

問 地域交流センターに隣接する、商業エリアの検討委員会の進行状況は。委員の任期が迫っているが、どうするのか。

答 9月25日に委員会を

開催する。委員の任期は9月末に終わるが、会議で引き続き協力を要請していく。

問 松本山雅への出資の意義とメリットは。また、今回予算化した理由は。

答 地域の産んだプロサッカーチームを地域で育てるためホームタウンとして応援していく意義がある。メリットはJリーグの一流プロから子どもたちがサッカー指導を受けることができる。また、池田町のPRにも役立つ。

問 池田町に少年サッカーチームがあること、町に山雅後援会ができたこと、請願が採択されたことなどから今議会で予算提案した。

議案 27年度下水道事業特別会計補正予算の質疑

問 下水道の長寿命化計画策定を見送った理由は。

答 現在施設の耐用年数はきているが、大きな不具合はない。3〜5年見送った方が費用対効果で効率的であるので、実施を見送った。

総務福祉委員会

○議案

個人情報保護条例の一部を改正する条例

【審査結果】 可決

【内容】 マイナンバー制度の施行にともない、個人情報保護を図るため条例の一部改正を行う。

【問】 住民基本台帳のカードとマイナンバーカードの2枚となるが、どうするか。

【町】 住基カードは今年の12月をもってなくなる。来年1月からマイナンバーカードに代わる。

【問】 マイナンバーカードを取り扱う人は何人か。

【町】 社会保障、税、災害関係の扱いになる。各部署ごとに扱い者を決め管理を徹底する。

【問】 マイナンバーカードの情報が流出することはないか。

【町】 担当を決めているので他の人は取り扱えない。



表面



裏面

マイナンバーカード(案)

○請願

安全保障関連法案の撤回を国会・政府関係機関に求める請願

【質疑】

意見 紹介議員の説明を聞き理解できたと思う。歴史の変わり目の時だからこそ廃案の意思を出すべき。

意見 6月議会の意見書と同じ内容である。すでに採択しているので趣旨採択が良い。

意見 自衛隊のトップがアメリカに行つて8月に通すと言っている。止めなければいけないと思う。採択に賛成である。

【審査結果】

趣旨採択

振興文教委員会

○議案

ハープセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

【内容】 ハープセンターに足湯を設置することにもなう条例の一部改正を行う。

【審査結果】 可決

○陳情

私立高校に対する公費助成をお願いする陳情

【審査結果】 採択

○請願

国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める意見書提出の請願

【審査結果】

採択

○請願
義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願
【審査結果】 採択

○請願

町外の小中学校へ通う児童・生徒に対する町営バス乗車証明書発行に関する請願

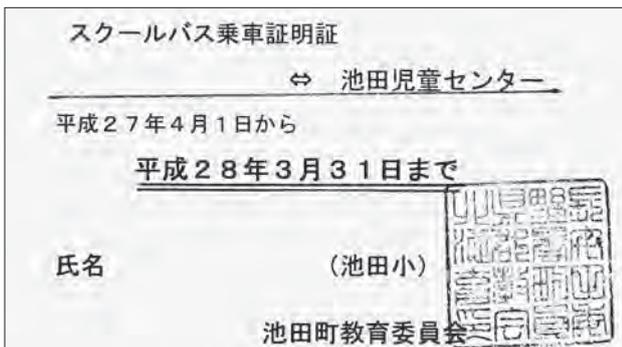
【内容】 町外の小中学校に通う児童・生徒にも町教育委員会から町営バス乗車証明書を発行し、通学のため無料で町営バスを利用できるようにして欲しい。

【質疑】
意見 義務教育であるので、公教育も私学も平等で良い。
意見 バス施行規則は町内対応であり、町外の通学に対応していない。改善が必要である。
意見 極力町内の学校を選択して欲しい。

【審査結果】

採択

本請願採択を受け、町は対応を12月1日までに議会議長に文書回答することになった。



教育委員会発行「スクールバス乗車証明書」

◎平成26年度決算に対する審査意見

1. 平成26年度決算の総括的意見

- 町税他の滞納額が総額で1億7700万円を超えている。全庁を上げ改善に努力されたい。
- 今後、少子高齢化が急速に進み社会保障関係の支出増が予想される。町民主体の健全な財政運営に努力されたい。

2. 平成26年度決算の各課への意見

◆総務課

- 消防団拠点整備事業で詰所や消防車両が整備され、安心安全の施策が進められた。
- マイナンバー制度へのシステム改修が行われた。情報流出が起きないように対応されたい。
- 電算処理で誤徴収が発生した。このような事故が発生しないよう委託業者との間で万全の措置をとられたい。
- 庁舎の雨漏り対策について計画的に対応されたい。

◆住民課

- 町営バス定期券が発売され、高校生・75歳以上高齢者の利便性の向上が図られた。また、明科線朝夕1便について明科高校校内乗り入れが開始され利便性の向上が図られた。
- ゴミ収集量が年々減少傾向にある。更なる減量化の啓発に努力されたい。

◆福祉課

- 高齢化率が35.8%になり、一人暮らしの高齢者、要介護認定者が増加し、障害者手帳所有者数も増加している。高齢者福祉と障害者福祉の更なる充実を期待したい。
- 特定健診の受診率が68.0%と全国同規模団体143町村中2位であり、職員の努力が感じられる。取り組みの継続と更なる受診率の向上を期待したい。
- 地域介護福祉空間整備事業で整備した一部基幹センターの基礎にクラックがみられた。発生原因など十分な調査を行い、適切な措置をとられたい。

◆保育課

- 発達障がい児などへの保育士の加配など子どもに寄り添う保育がなされた。
- 保育料、延長保育料の滞納額軽減に努力がみられた。

◆振興課

- 再生可能エネルギーを利用した薪ボイラーが設置された。十分に活用されるよう努力されたい。
- 東山の松くい虫対策、森林整備が停滞している。早期の対応に努力されたい。
- 銀座NAGANO（東京銀座にある長野県のアンテナショップ）の有効活用（例：定住促進、物産販売の促進など）について積極的に取り組まれたい。

◆建設水道課

- 3年間の住宅リフォーム促進事業は延べ件数261件、総工事費約3億400万円、交付金総額約4,100万円となり、町民に喜ばれ、町内業者の振興に役立った。

◆教育委員会

- 加配職員の配置により子どもに寄り添う教育がなされた。更に継続されたい。
- 子どもの虐待、不登校、イジメについて関係機関で連絡をとり、更なる対策を講じられたい。
- 児童センターが児童人数の割に手狭である。安心して利用できるよう早期に改善策を講じられたい。



部活動の生徒が利用する明科高校発町営バス

本会議最終日の質疑

◎認定 平成26年度

一般会計決算の認定

《審査結果》 可決

〔賛成討論〕 服部久子

・3年間の住宅リフォーム助成制度は町民と関係事業者に喜ばれた。今後は住宅の外回りの改修に利用できる助成制度を期待する。
 ・各学校に教育支援員を加配し、学習支援したことは評価できる。



池田小学校での学習支援

9月定例会審査結果一覧

区分	事 件	審査結果
認定	26年度池田町一般会計歳入歳出決算の認定	認定
認定	26年度池田町工場誘致等特別会計歳入歳出決算の認定	認定
認定	26年度池田町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定
認定	26年度池田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認定
認定	26年度池田町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定
認定	26年度池田町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定
認定	26年度池田町水道事業会計歳入歳出決算の認定	認定
議案	個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決
議案	手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決
議案	ハーブセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案	27年度一般会計補正予算(第2号)	可決
議案	27年度池田町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議案	27年度池田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
議案	27年度池田町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案	27年度池田町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決
陳情	私立高校に対する公費助成をお願いする陳情	採択
陳情	外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書	継続審議
請願	「安全保障関連法案」の撤回を国会・政府関係機関に求める請願	趣旨採択
請願	国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める意見書提出の請願	採択
請願	「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める請願	採択
請願	町外の小中学校へ通う児童・生徒に対する町営バス乗車証明書発行に関する請願	採択
意見書	国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める意見書	採択
意見書	私立高校への公費助成に関する意見書(県宛て)	採択
意見書	私立高校への公費助成に関する意見書(国宛て)	採択
意見書	「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める意見書	採択

・児童センターは面積・指導員とも不足している。早急な改善を望む。

◎議案 個人情報保護条例の一部を改正する条例

《審査結果》 可決

〔反対討論〕 薄井孝彦

マイナンバー制度導入を前提にした条例改正で

ある。マイナンバー制度は国民の収入の実態をつかみ易くし、税徴収を強化するのが狙いである。情報流出による被害も心配である。マイナンバー制度導入には賛成できないので、条例に反対する。

◎議案 手数料徴収条例の一部改正する条例

《審査結果》 可決

〔反対討論〕 薄井孝彦

マイナンバー制度の導

入につながるので反対する。

〔賛成討論〕 矢口 稔

マイナンバー制度は国が定めたものであり、町の条例整備は必要である。カード再交付への手数料を定める条例は必要であり、賛成する。

◎議案 平成27年度一般会計補正予算

《審査結果》 可決

〔賛成討論〕 桜井康人

町民要望に基づく予算である。特に、松本山雅への出資は近年停滞傾向にある町のスポーツに刺激を与える事業である。プロサッカーチームから指導を受けることにより子ども達の夢と希望が実現できるように継続した努力を行政にお願いし、賛成する。

◎請願 町外の小中学校に通う児童・生徒に対する町営バス乗車証明書発行に関する請願

《審査結果》 採択

〔賛成討論〕 服部久子

現在、広津・陸郷地区の小中学生が町内に通学する場合、無料パスを発行している。町外に通学する小中学生も同様の対応が必要と考え、賛成する。

ここが聞きたい 議員10名が一般質問



**小学校統合の調査、
研究をすべきではないか**
聖章 議員

〈教育委員長〉早急に結論を出す段階ではない

問 全国的に人口減少問題が課題となっていて。当町でも子育て世代の増加を目指しているが、更なる支援を求める声が大きいです。保育料の減免等、施策はあるか。

答 今年度から第3子以降、保育料の減免を行っている。総合戦略の中で、包括的な子育て支援の経済的サポート充実策として、保育料の値下げを盛り込む計画である。

問 小学校統合について検討すべき時ではないか。

答 5、6年後には2校とも1学年1学級になる見込みであるが、統合に関して保護者等から直接話を聞いたことはほとんどない。県教委が示す1学級20人程度

問 返礼品の額は、5割を目安にする。今後のPRは。

答 広報いけだ、町ホームページ、紙媒体のカタログ、インターネット「ふるさとチョイス」等、積極的に知らせる。人脈を通して、口コミでの呼びかけも行う。

問 どの程度の積立て目標を持っているのか。

答 現在ふるさと納税額が300万円である。1千万円程度積立てができたなら、活用を検討する。



ふるさと納税を紹介する「ふるさとチョイス」(インターネット)



**副町長不在が9ヶ月続き
行政運営に問題ないか**

矢口 新平 議員

〈町長〉町政は適正に運営推進されており、支障はないと確信している

問 地域交流センター予定地西側に120台の駐車できる土地を町が確保すること、計画全体に変更等あるのか。

答 現在、ワークショップを進めており、これから建設検討委員会となる。変更等があるかは今後となる。全体のプランは来年2月には具体的に説明できると考えている。

問 ハーブセンターの総合的取組みは。

答 11月には大かえンターを題材としたメディア向けツアーを実施する予定。コンセプトブック、フェイスブックを作成中で、完成したら早急にホームページにリンクする。

問 副町長不在が9ヶ月続いている。行政運営に支障はないか。各課に関連する事業で調整する人がいないので、自分達の業務のみを行っていいように思える。交通整理をする人が必要ではないか。

答 教育長を含め、各課長に努力して頂いている。調整は適正に運営、推進されており、支障はないと確信している。

問 ふるさと納税についてインターネットで

答 計画策定の際買取単価基準により算出している。金額が大きくなるため、RHトラバラー社と提携した。事業の進捗状況はどうか。

答 ふるさとチョイスを利用してRHトラバラーを紹介して行っている。現在82名の方より2週間程で百万円を超える寄付があった。今後更に充実を図り拡大していく。



本年度リニューアルされるハーブセンター鑑賞園



小学校統合検討委員会の設置を

和澤 忠志 議員

〈教育委員長〉委員会で審議検討し状況を 見極めていく

問 少子化により5、6年後には池田小学校で全年、会染小学校も過半数の学年が1クラス編成となる予想である。クラスマッチ・クラス編成替えも出来ない状況で、活力ある子どもを育てる事に問題は無いのか。

答 学校が無くなることはその地域の疲弊につながる。小規模学級のメリットを生かし、一人ひとりの子どもに寄り添った指導をする事が子どもの心を安定させる事となり、意欲的に学習や学校生活に打ち込むことの根っこに成ると思う。2つの学校を地域住民の寄りどころとしていく事が今求められていると考えている。

問 5年位はあつと言う間に過ぎる。将来のあるべき姿を、大局観を持って研究、議論を住民と一緒に

に取り組む時期に来ていると考えるが。

答 時期はまだ早いと考える。

問 池田工業高校の5年制の取り組みは。

答 町長は「池田工業高校を育てる懇話会」の会長、教育長は「魅力ある池田工業高校を育てる委員会」の委員である。昨年12月には、懇話会と魅力検討委員会の連名で、県知事と伊藤教育長に「2年制の専攻科の設置等の要請」をした。池工は町にとつて、なくてはならない大切な高校である。近隣の市町村や商工会とも連携し、池工の存続に努力していきたい。

問 ツルヤの出店は来年の秋オープンとの予定だが、町にとつ

ては大きなインパクトになると思うが出店経過と内容は。

答 アップルランドの撤退後、昨年9月に町長が出店要請をし、ツルヤも、市場調査等行い6月末に地権者会議を開催し、現在十月末までには契約調印の運びとなっている。店舗の内容、関連店舗、地元雇用等、まだ公表できない。

問 工業団地造成と企業誘致の取り組みは。

答 内鎌工業団地は平成32～33年ごろの予定。工場用地の問い合わせは年間数件あり、振興課で、県や関係課と連携を図り誘致活動を行っていく。

問 地区内には、空き家約260戸が確認されている。防火、防犯、衛生、景観の悪化など、問題を引き起こしている。空き家等の推進に関する特別措置法で今後進めていく。

問 この措置法をどのように町づくりに活かしていくのか。

答 有効活用として、空き家バンク等の提供サ-

ビス、農村宿泊施設、移住希望者の住居等に活用する。また、狭い地区の駐車場として利用する。



ツルヤ出店予定地（一丁目南セコニック北側）



空き家対策特別措置法が施行されたが

立野 泰 議員

〈建設水道課長〉 各課が連携し、組織的に取り組む

空き家対策について

問 空き家問題が深刻になっている。検討していると思うが、前進がない。どのような対策をとっていくのか。

答 地区内には、空き家約260戸が確認されている。防火、防犯、衛生、景観の悪化など、問題を引き起こしている。空き家等の推進に関する特別措置法で今後進めていく。

問 この措置法をどのように町づくりに活かしていくのか。

答 有効活用として、空き家バンク等の提供サ-

ビス、農村宿泊施設、移住希望者の住居等に活用する。また、狭い地区の駐車場として利用する。

問 定数を230名に削減した。今後町の防災、災害等に支障がないか。

答 前年度と比較して、動員力は落ちていない。効率の良い動き方もさらに研究し努力していく。

問 団員が減少していく中で、ゼビOBの協力隊の結成を検討できないか。また、非常時に出動できるよう対応を求めたい。

答 将来的に必要で有効な手段だと思ふ。今後検討していく。

道路改良について

問 松川・生坂を結ぶ、県道の改良が進んでいないが。

答 旧中山温泉付近の改良工事が行われており、半在家区間でも、整備計画が進められている。3丁目交差点も測量に着手する予定である。土

地利用調整基本計画の中で計画している、半在家から3丁目交差点までの、県道バイパス仮定ルートを早期に整備実現に取り組んでいく。

電気柵について

問 今年に入り、電気柵が倒木等により破損し、有効に活用できていない。誰が管理をし、定期的な見回りをしているのか。

答 管理は、地権者や受益者をお願いしている。今までパトロールはしていないので、これからは町で定期的にやっていく。

道路改良について

問 松川・生坂を結ぶ、県道の改良が進んでいないが。

答 旧中山温泉付近の改良工事が行われており、半在家区間でも、整備計画が進められている。3丁目交差点も測量に着手する予定である。土

地利用調整基本計画の中で計画している、半在家から3丁目交差点までの、県道バイパス仮定ルートを早期に整備実現に取り組んでいく。

電気柵について

問 今年に入り、電気柵が倒木等により破損し、有効に活用できていない。誰が管理をし、定期的な見回りをしているのか。

答 管理は、地権者や受益者をお願いしている。今までパトロールはしていないので、これからは町で定期的にやっていく。



倒木により破損した電気柵



子どもの心と身体を育む 食育推進の取り組みを

横澤 はま 議員

〈教育長〉でできるだけ早く各課横断で検討する

問 全国的に子どもの食に関する心身の健康問題が増加。これに対し教育現場における食に関する課題と取り組みは。

答 小中学校では「食の指導に関する全体計画」に沿って、食事の重要性

食品選択能力・感謝の心・食文化など給食時、特別活動、教科学習の中で取り組んでいる。そして家庭での正しい食生活が最も大切である。生きる力

身に付けるために食の視点から年代に合った見直しをする必要がある。

問 食育推進検討会の設置を。町の考えは。

答 学校では体系化した食教育ができています。また食を通して農業の活性化や地域の食文化の見直しがされることは大切で、そのためにあらゆる関係者の知恵を出し合うこと

は必要である。食育は妊娠期から高齢期と全ての年代ごとの検討と必要性を感じている。今後は各課で横断的に検討する。

問 食生活改善の一助として食生活実態調査を実施すべきと思うが。

答 食生活実態調査は町全体として把握していないが、部分的なデータによると塩分摂取量は平均男性12g、女性9・6gの結果が出ている。町民全体対象の実態調査を今後の課題として検討する。

問 健康づくりに取り組む健康ボランティアの現状と今後の推進は。

は。



食文化継承 - 秋の彼岸 -

答 保健指導員は45名と水準を維持している。食生活改善推進員は減少傾向にあり人材確保が急務となっている。今後はサロン活動やキッチンクラブの支援を含め活動の輪を広げていきたい。

問 「学校給食だより」が防災行政無線から発信されているが、より地域の食文化継承や食育効果を高めるために情報発信の内容充実を図っては。

答 防災無線の制約の中で時折、一口メモを放送していきたい。

は。

消防団サポート制度の創設を

矢口 稔 議員



〈総務係長〉一つの取組みとして検討する

しかし、消防団を応援する一つの取組みとして、検討したい。

あづみ病院への町の関わり方は

問 この秋に新しい病棟が完成する。直売所・売店等に町内商店製品の販売継続を望むが。

答 現在売店については継続していく方向である。出来るだけ町内業者を利用していただけるようお願いしている。

問 今後、ますます町と病院との連携、タイアップが必要と思われるが。

答 病院との連携は多岐にわたっている。現状の各種委員会等により、ケースに応じた連絡体制の強化・明確化を図っていき

たい。

町立美術館の運営状況と課題は

問 指定管理者制度に移行し、約半年が経過した。運営状況と課題は何か。

答 4月当初、館長より



見事な操法を見せた県大会出場チーム



町営墓地の現状と 今後について

倉科 栄司 議員

〈町長〉樹林墓地要望あれば建設も視野に検討

問 永代使用の申し込みを受けられる聖地が、平成26年度決算の段階で0区画となっているが。

答 平成27年度に入り返還された6聖地が、現在申し込み受け付け可能となっている。

問 この6聖地全てが使用申し込みされたら対応は。

答 その場合は町区等の墓地を紹介する。

問 聖地の中に草木が繁茂状態になっているものがあるが対応は。

答 聖地使用許可者に文書で整備するよう通知した。

問 墓守をする人がいなかったり、町外へ転出する等の理由で聖地を返還する例はあるか。

答 建立されていた墓地を片つけて返還された例は一件ある。転出される方



池田町墓地公園(相道寺)

町制施行100周年、 合併60周年記念行事 の進捗は

桜井 康人 議員



〈町長〉スケジュールに基づき進めている。

は返還せず管理者の変更をされる方が多い。
問 樹林墓地の建設を求めめる人が今後出てくるかと思われるが、現在問い合わせや要望はあるか。
答 現在は無い。町営墓地も現地での聖地造成は限界がある。別の場所への新たな町営墓地の造成も検討しながら、併せて樹林墓地建設の要望があれば、視野に入れて検討していく。

問 記念事業計画で現在までに予算執行された事業とその進捗状況は。

答 制作依頼したテレビ放映が9月27日、記念切手発行、公民館大会での白石康次郎氏の講演会、町民提案型事業では14事業の申請がある。

問 町民の反応、関心は。
答 町民提案型事業が予想以上の反応を得ていること、更に本事業に様々な分野から問い合わせがある状況を見ると関心度は一定の成果と考える。

問 記念式典の趣旨と取組内容は。
答 式典の趣旨は、古き良き池田町を「回顧」し未来を担う子供達からのメッセージの発信を行い、100周年を機に池田町が新たな一歩を踏み出すというストーリーで検討した。

町所有の公共施設の現状と課題は

問 町所有の施設数と維持管理の営繕費は年平均どの位か。
答 公共施設数は、役場庁舎、学校等併せて80施設となる。修繕費は平成26年度決算数字では年間約1千600万円となり、1施設約20万円となる計算である。

問 施設の今後の在り方統合・再配置の考えは。
答 国の「インフラ長寿命化基本計画」の策定に基づき、町では本年度より「公共施設等総合管理計画」策定業務を専門業者と実体を明らかにし、作りあげる。その結果、維持管理の負担軽減、施設の長寿命命化が図られる。

問 学校教育について
答 全国学力テストの捉え方は。

問 一部の教科テストで子どもを評価してはいけない。それは学校にもいえることで、学校には伝統や特徴を育んできており、学校の評価や序列化につながることはよくない。
問 学校にお

ける、携帯電話、スマートフォンの使用の現状と課題は。
答 テスト結果も使用時間が長い子どもは正解率が低い。保護者の理解を得て、正しい使い方を指導、推進する。

問 いじめ調査のやり直しの背景は。
答 岩手県での中学2年生自殺の事案後、いじめ認知に対する考え方の相違があり、その定義を明示し、いじめに関する情報を再度精査し、認知漏れのないようにしての再調査である。

池田町町制施行100周年・合併60周年
祝 記念式典



100周年記念式典



マイナンバー制度による 情報漏れをどう防ぐか

服部 久子 議員

〈総務課長〉基幹ネットワークと情報ネットワークを切り離して防止する

問 マイナンバー制度のシステム整備に多額の経費を使っている。毎年度の位を想定しているか。

答 システム改修費の大半は国の補助が出る。しかし、満額交付されず町負担が出る場合もある。国の方針が不透明で算出できない。

問 情報の漏えいが心配である。専門職員を育成し、外部委託を控える取り組みを。

答 人事異動で専門職員の育成は困難である。各課でパソコンに堪能な職員をシステム管理者として対応している。

問 児童センターの改善を

問 児童センターは児童数に対して狭い。改善を。

答 大型事業が控えているので、児童数が増える時は他の施設を利用する。

問 子ども・子育て制度で学童保育の基準ができた。学童保育と子ども教室の区別をし、落ち着いた環境の提供ができないか。

答 児童センターのあり方は交流センターの利用を含め検討している。早期に方向性をだしたい。

問 未就園児の居場所に児童センターの月曜日午前中の使用ができないか。

答 実施する。

問 未就園児の居場所の確保が必要ではないか。

答 交流センターの活用を検討する。

問 国民健康保険税の引き下げを

答 国は新たに1700億円を全国の自治体に補助する。また、町の国保基金が

1億円以上ある。これらを活用して国保税の引き下げができないか。

答 国の拠出金は、一般会計繰り出し金として支出される。また、町国保基金は、急激な医療費の変化にも備えなければならぬ。慎重に対応したい。

問 女性臨時職員の正規化の具体的目標は

答 正規保育士と同じ仕事をすることを目標とする。

問 保育園職員58名の内4分の3が臨時職員である。処遇改善を検討する。



会染児童センター

防災対策及び人口増対策を推進するために職員体制の整備を。

薄井 孝彦 議員



〈町長〉来年度に職員体制を整備する。

◎防災対策について

問 地球温暖化により質の異なる豪雨・土砂災害が発生している。避難勧告発令基準の策定、避難所運営委員会の取り組みの現状は。

答 できるだけ早く取り組み。

問 8月3日のゲリラ豪雨により町なかに浸水被害が発生した。内水氾濫対策の考えは。

答 自主防災組織と連携し、内水ハザードマップを策定する。

問 災害時要配慮者への対策のマニュアル作成の取り組みは。また、福祉避

難所の取り組みは。

答 マニュアル作成は情報公開の制限で難しく検討を要する。

問 要介護者・障害者の福祉避難所は高瀬荘・ライフ・デーサービス高瀬とし、妊婦・乳幼児には、やすらぎの郷とする。施設管理者と合意した。年内に協定を結ぶ。

◎地方創生の池田町総合戦略(人口増)の取り組みについて

問 人口増を推進するために職員体制を整備し、地域おこし協力隊員を導入できないか。

答 来年度職員体制を整備し、地域おこし協力隊員の導入も検討する。

◎介護予防・日常生活支援総合事業について

問 北アルプス広域連合は介護保険支援の訪問介護と通所介護を平成29年度から市町村の介護予防・日常生活支援総合事業(以後、総合事業)に移行する。町の考えを問う。

答 利用者相談窓口はそれが対応するか。制度に精通した地域

包括センターで対応する。

問 ボランティアサービスの利用でサービス低下にならないか。

答 当町では現行の業者が継続するのでサービス低下はないと理解する。

問 利用者負担はどうか。

答 負担料は総合事業の保険者である北アルプス広域連合で決める。

問 利用者が使いやすい総合事業となるよう広域連合に働きかけを。

答 広域連合と協議する。



災害時、要介護者・障害者の福祉避難所に予定されている“高瀬荘”

議会を傍聴して



伊藤 将人 さん
(千本木台)

れば、直前に調べたような受け答えや思い付きの受け答えをしている方もいます。議会報では分からない、個性の力を活かすことができます。

二つ目を踏まえて、三つ目は池田の幹となる方々を知ることです。本場にこの議員に池田を任せられるのか、この役場職員に行政を任せられるのか、一般質問は数時間だけですが、判断材料としては十分だと思いました。

今年の町議会議員選挙は、定数で選挙になりました。今年で選挙になりましたが、もし定数を上回っていった場合、みなさんは何を判断基準として投票したでしょうか。町議会議員の活動というのは、必ずしも目に見えないものばかりではあ

「行ってみないと分からないことがある」それが、議会を傍聴して最初に思ったことです。町民には降りてこない情報がたくさんあるんだなあ、ということですよ。

議会でのやり取りを直接見ることによって分かること。一つ目は雰囲気。どんな場所で議会は行われているのか、人数は何人くらいか、緊張感はあるのかなど行かないと感じられないものがあります。

二つ目は、個の力です。質疑応答の射を射て簡潔な方もいれば、的外れな意味の分からない質疑応答をする方もいます。そして、しっかりと準備して議会に臨む方も

りません。そんななかで、各議員の実力が最もよく分かるのが議会傍聴だと思います。

ぜひ、議会傍聴してみたい方が多いか、行けない方々向けに、ネットでも議会中継を観れます！

話は変わりますが、僕は現在19歳、大学2年です。信州池田活性化プロジェクト「Maple Tree」という団体で、「いけだいろ」というフリーペーパーの発行やイベントの企画などを行っています。池田が良くなるように活動していきたいので、ご協力よろしくお願ひします。

議会を傍聴して



林 幸男 さん
(千本木台)

九月の定例会一般質問初日に議会を傍聴させていただきました。町の議場に足を踏み入れるのはこれが初めてで、ましてや役場にすらあまり行かない私にとっては、とても新鮮な体験をさせてもらいました。私は県外の大学に通っているのですが、普段あまり町の近況が入ってこないのですが、今回の質問に上がった、例えばハープセンターに足湯が出来るとか、一丁目のスリーパーの建設計画は噂程度にしか知らなかったもので、自分が今の町の動向をつかめたのは良いことだと思いました。しかし平日ということもあり、傍聴者は年配の方と記者の方くらいで自分たちの方がすごく浮いてしまうくらいでした。今回の経験を生かして自分も町で出来ることを探し、現在やっているフリーペーパーの作成に生かしてみようと思います。

編集後記

お盆までの猛暑が一転し、秋の長雨が続き、農作業が遅れています。更に秋野菜の高騰も見られ、台風18号被害も併せ自然環境の変化に人間の弱さを痛感しました。そんな中にも秋の陽ざしのもと、コンバインのエンジンの音と競演し、小学校の運動会での子ども達の賑やかな声援が聞こえます。9月議会は平成26年度決算認定議会でもあり、全ての認定案件が承認されました。黒字決算とはいえ、今後大型事業を控えています。議会もチェック強化を図り、存在感を示していきます。

桜井康人

議会報編集特別委員会

- 委員長 薄井孝彦
- 副委員長 桜井康人
- 委員 倉科栄司
- 委員 矢口稔
- 委員 大出美晴
- 委員 立野泰

あなたの声をお聞かせください どの会場でも参加できます

町民の皆さんと議会との意見交換会を開きます



- 11月 5日(木) 19時～ …… 5丁目 基幹センター
- 11月 7日(土) 19時～ …… 堀の内集落センター
- 11月 14日(土) 19時～ …… 3丁目 公民館
- 11月 15日(日) 19時～ …… 鶴山集落基幹センター
- 11月 25日(水) 19時～ …… 1丁目 集落基幹センター